



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月30日

上場会社名 日鉄住金物産株式会社  
 コード番号 9810 URL <http://www.nssb.nssmc.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 樋渡 健治  
 (氏名) 多田 昌功

TEL 03-5412-5003

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	486,081	△2.1	7,236	7.5	8,889	28.3	5,964	27.5
27年3月期第1四半期	496,678	—	6,733	—	6,926	—	4,676	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 7,328百万円 (80.6%) 27年3月期第1四半期 4,058百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	19.29	—
27年3月期第1四半期	15.13	—

(注) 27年3月期第1四半期の連結業績は、平成25年10月1日付の合併により、前年同四半期の連結業績と比較して大幅に変動していることから、対前年同四半期増減率の記載を省略しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年3月期第1四半期	676,473		188,636		25.4
27年3月期	692,899		183,693		24.1

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 171,854百万円 27年3月期 166,774百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00	
28年3月期	—					
28年3月期(予想)		7.50	—	7.50	15.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,030,000	0.2	13,500	△1.9	13,500	0.2	7,800	△6.6	25.23
通期	2,120,000	0.7	29,500	2.9	31,000	1.4	17,500	0.4	56.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	309,578,001 株	27年3月期	309,578,001 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	412,612 株	27年3月期	408,443 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	309,167,840 株	27年3月期1Q	309,199,080 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、TDnetで平成27年7月30日に開示し、同日、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、中国・アジア新興国の経済成長率の鈍化が顕在化する一方、雇用環境の安定による堅調な個人消費などにより回復基調を維持する米国景気や、欧州景気の持ち直しなどにより全体としては緩やかな回復ペースを保っております。

我が国経済は、公共投資が弱含みで推移しているものの、個人消費の改善を中心とする持ち直しの動きがみられました。

このような経営環境の下、当社グループの連結業績につきましては、前年同四半期と比較し、売上高は105億円、2.1%減収となる4,860億円となりました。営業利益は5億円、7.5%増益となる72億円、経常利益は営業利益の増益に加え、持分法による投資利益の増加により19億円、28.3%増益となる88億円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億円、27.5%増益となる59億円となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

## (鉄鋼)

鉄鋼事業におきましては、国内鉄鋼需要は、自動車関連の回復の遅れなどによる製造業向けに加え、建設向けも総じて減少したため、鉄鋼メーカーの減産が強化され、当社の国内販売数量は減少しました。一方、輸出は、市況の軟化が更に進行しましたが、遠隔地向けの取扱いなどが寄与し、販売数量は増加しました。加えて、与信費用の減少や営業外収益の改善などにより、売上高は109億円、2.8%減収となる3,853億円、経常利益は11億円、27.8%増益となる54億円となりました。

## (産機・インフラ)

産機・インフラ事業におきましては、東欧向け設備機械の販売が増加したことなどから、売上高は28億円、13.6%増収となる235億円となりました。加えて、タイにおける持分法適用会社の増益及び同社の企業結合による一過性の利益の計上などにより、経常利益は14億円、278.5%増益となる19億円となりました。

## (繊維)

繊維事業におきましては、円安・オーバーストアなど取り巻く環境が厳しさを増す中、主要取引先への販売が減少し、売上高は27億円、6.5%減収となる390億円、経常利益は4億円、36.7%減益となる7億円となりました。

## (食糧)

食糧事業におきましては、食肉価格が前年度の高値の反動から弱含みで推移し、利益率が低下したことから、売上高は2億円、0.6%増収となる378億円、経常利益は2億円、22.9%減益となる7億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、流動資産その他の増加があったものの、売上債権及びたな卸資産等の減少があり、前期末比164億円の減少となる6,764億円となりました。

負債合計は、借入金の増加があったものの、仕入債務の減少があり、前期末比213億円の減少となる4,878億円となりました。

純資産合計は、配当金支払いがあったものの、当第1四半期連結累計期間での親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があり、前期末比49億円の増加となる1,886億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、平成27年5月8日公表の業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,022	26,388
受取手形及び売掛金	396,162	371,354
たな卸資産	106,275	104,463
その他	20,948	30,782
貸倒引当金	△1,654	△1,330
流動資産合計	550,754	531,659
固定資産		
有形固定資産	63,009	63,256
無形固定資産		
のれん	189	172
その他	1,009	991
無形固定資産合計	1,198	1,163
投資その他の資産		
その他	82,466	84,892
貸倒引当金	△4,529	△4,498
投資その他の資産合計	77,936	80,393
固定資産合計	142,144	144,814
資産合計	692,899	676,473
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	249,831	228,942
短期借入金	172,345	175,495
未払法人税等	5,756	1,796
引当金	3,270	2,218
その他	30,813	30,838
流動負債合計	462,018	439,291
固定負債		
長期借入金	33,936	34,543
引当金	442	435
退職給付に係る負債	1,720	1,730
その他	11,087	11,835
固定負債合計	47,187	48,545
負債合計	509,206	487,836
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,335	12,335
資本剰余金	50,645	50,645
利益剰余金	88,668	92,635
自己株式	△108	△110
株主資本合計	151,540	155,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,845	7,282
繰延ヘッジ損益	△554	△686
為替換算調整勘定	9,157	8,953
退職給付に係る調整累計額	786	799
その他の包括利益累計額合計	15,233	16,349
非支配株主持分	16,918	16,782
純資産合計	183,693	188,636
負債純資産合計	692,899	676,473

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	496,678	486,081
売上原価	466,908	453,204
売上総利益	29,769	32,877
販売費及び一般管理費	23,035	25,640
営業利益	6,733	7,236
営業外収益		
受取利息	94	126
受取配当金	353	453
持分法による投資利益	210	1,355
仕入割引	203	180
その他	336	400
営業外収益合計	1,198	2,516
営業外費用		
支払利息	645	644
その他	360	219
営業外費用合計	1,006	863
経常利益	6,926	8,889
特別利益		
投資有価証券売却益	—	141
固定資産売却益	23	—
負ののれん発生益	123	—
特別利益合計	146	141
特別損失		
持分変動損失	—	110
投資有価証券売却損	2	—
投資有価証券評価損	7	—
関係会社整理損失引当金繰入額	135	—
特別損失合計	144	110
税金等調整前四半期純利益	6,928	8,920
法人税等	2,062	2,710
四半期純利益	4,866	6,209
非支配株主に帰属する四半期純利益	189	245
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,676	5,964

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	4,866	6,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	318	1,456
繰延ヘッジ損益	△75	△133
為替換算調整勘定	△707	△191
退職給付に係る調整額	11	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△355	△26
その他の包括利益合計	△807	1,119
四半期包括利益	4,058	7,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,079	7,089
非支配株主に係る四半期包括利益	△21	239

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄鋼	産機・ インフラ	繊維	食糧	計				
売上高									
外部顧客への売上高	396,258	20,712	41,753	37,594	496,318	359	496,678	—	496,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	122	361	0	—	484	32	516	△516	—
計	396,380	21,073	41,754	37,594	496,802	392	497,194	△516	496,678
セグメント利益 (経常利益)	4,270	515	1,191	929	6,908	15	6,923	2	6,926

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去2百万円であります。

3 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益の合計は、調整額2百万円を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄鋼	産機・ インフラ	繊維	食糧	計				
売上高									
外部顧客への売上高	385,357	23,523	39,037	37,828	485,747	333	486,081	—	486,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	209	430	1	—	641	28	669	△669	—
計	385,566	23,954	39,039	37,828	486,389	361	486,750	△669	486,081
セグメント利益 (経常利益)	5,455	1,952	754	717	8,879	12	8,892	△3	8,889

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去△3百万円であります。

3 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益の合計は、調整額△3百万円を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。